

都道府県内のがん医療に携わる 医療者の研修・人材育成について

都道府県がん拠点病院の役割

都道府県拠点病院は、当該都道府県におけるがん診療の質の向上及びがん診療連携協力体制の構築、PDCAサイクルの確保に関し中心的な役割を担うこと

1 都道府県における診療機能強化に向けた要件

- (1) 当該都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する 医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を実施すること。
- (4) 都道府県協議会を設置し、当該協議会は、当該都道府県内のがん診療に係る情報の共有、評価、分析及び発信を行うとともに、診療の質向上につながる取組に関して検討し、実践するため、次に掲げる事項を行うこと。
- ⑦ 当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修その他各種研修に関する計画を作成すること。

都道府県内のがん化学療法に関する研修 【事前アンケート】

N=47		
都道府県内の施設に向けた、がん化学療法に関する研修等の実施について	n	%
実施した	27	57.5
過去に実施したが・H28年度は実施せず	1	2.1
実施したことがない	19	40.4

n=19		
H28に研修を実施しなかった理由 (n = 19)	n	%
都道府県内で研修実施について話し合う機会がないから	6	31.6
時間的に余裕が無かったから	5	26.3
どのように研修実施を実現すればよいかわからないから	2	10.5
都道府県内の関係者の協力が得られないから	2	10.5
担当がいなかったから	2	10.5
予算が確保できなかったから	1	5.3
研修生が集まらないから	1	5.3
必要性を感じていないから	0	0
他の機関が主催で実施していたため	0	0

都道府県内のがん看護に関する研修 【事前アンケート】

		N=47	
都道府県内の看護師を対象とした研修等の実施について		n	%
実施した		38	80.9
過去に実施したが・H28年度は実施せず		5	10.6
実施したことがない		4	8.5

		n=9	
H28に研修を実施しなかった理由（n=9）		n	%
時間的に余裕が無かったから		3	33.3
都道府県内で研修実施について話し合う機会がないから		2	22.2
他の機関が主催で実施していたため		2	22.2
予算が確保できなかったから		2	22.2
必要性を感じていないから		1	11.1
どのように研修実施を実現すればよいかわからないから		1	11.1
都道府県内の関係者の協力が得られないから		1	11.1
担当者がいなかったから		0	0.0
研修生が集まらないから		0	0.0

都道府県内の薬剤師に関する研修 【事前アンケート】

N=47		
都道府県内の施設に向けた、薬剤師研修等の実施について	n	%
実施した	29	61.7
過去に実施したが・H28年度は実施せず	0	0
実施したことがない	17	36.2
未回答	1	2.1

n=17		
H28に研修を実施しなかった理由（n=17）	n	%
都道府県内で研修実施について話し合う機会がないから	6	35.3
時間的に余裕が無かったから	4	23.4
どのように研修実施を実現すればよいかわからないから	2	11.8
担当者がいなかったから	2	11.8
都道府県内の関係者の協力が得られないから	1	5.9
予算が確保できなかったから	1	5.9
研修生が集まらないから	1	5.9
必要性を感じていないから	0	0
他の機関が主催で実施していたため	0	0

都道府県内の緩和ケアチームに関する研修 【事前アンケート】

	N=47	
都道府県内の緩和ケアチームを対象とした研修等の実施について	n	%
実施した	18	38.3
過去に実施したが、H28年度は実施せず	2	4.3
実施したことがない	30	63.8

	n=32	
H28に研修を実施しなかった理由（n = 32）	n	%
時間的に余裕が無かったから	15	46.9
予算が確保できなかったから	6	18.8
どのように研修実施を実現すればよいかわからないから	5	15.6
都道府県内で研修実施について話し合う機会がないから	4	12.5
必要性を感じていないから	3	9.4
都道府県内の関係者の協力が得られないから	3	9.4
担当がいなかったから	2	6.3
他の機関が主催で実施していたため	1	3.1

都道府県内で研修会を開催する際の困りごと 【事前アンケート】

- 県内の現状把握が不十分で課題が不明瞭であるが、課題を把握するための方法がわからない。
- 研修のニーズの把握が困難
- 拠点病院の必須要件でないため、県内施設の協力を得ることが難しい。
- 県内の施設間で取り組み状況が異なり、県内全体で人材育成することが難しい。
- 研修実施に関する事務作業量が多い。
- 人員不足で余裕が無く、研修実施が困難。
- 研修費用や時間の確保が困難

国立がん研究センターにおける 研修に関する取り組み

がん対策情報センター開設前

- ・ がん政策医療ネットワークに基づく個人向けのスキルアップ研修

がん対策情報センター開設後（平成18年度～）

- ・ 個人向けのスキルアップ研修のコンテンツの拡大
- ・ 院内の指導者向けの研修開始（平成19年度～）
- ・ 都道府県の指導者向けの研修開始（平成25年度～）

現在、行っている主な研修(相談員、がん登録以外)

- ・都道府県レベルでの指導者の育成、研修会開催の支援

緩和ケアセンター・緩和ケアチーム

化学療法医療チーム

看護師

薬剤師

- ・病院レベルでの指導者の育成

化学療法医療チーム

看護師

- ・個人のスキルアップを目的とした研修

病理診断医

地域緩和ケア連携調整員

都道府県庁のがん対策担当の行政官

研修の実績（相談員、がん登録以外）

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
基礎コース数	6	7	5	6	3	2	1	2	2	2	3
修了者数	149	559	442	311	219	134	70	183	123	200	400
院内の指導者 研修コース数	0	6	11	13	16	17	18	21	14	9	8
修了者数	0	333	487	563	555	518	601	823	874	525	468
都道府県の 指導者研修 コース数								1	3	5	5
修了者数								34	82	141	161
合計	149	892	929	874	774	652	671	1040	1079	866	1029

都道府県で研修会を開催するための 指導者養成研修の受講状況

看護師（平成26年度～）	29都道府県
化学療法医療チーム（平成26年度～）	15道府県
薬剤師（平成27年度～）	25都道府県
緩和ケアチーム（平成28年度～）	9県

都道府県で研修会を開催するための 指導者養成研修の主な流れ

- 【1】 自都道府県内の現状の把握
- 【2】 先行している他都道府県の取り組みの学習
- 【3】 自都道府県内の課題と研修ニーズの整理
- 【4】 研修により達成したい目標の設定
- 【5】 研修プログラム案の作成
- 【6】 研修実施に向けた関係者との調整を含めた企画案の作成
- 【7】 他都道府県との意見交換

研修会後

- ・ 各都道府県での研修会開催に向けた進捗状況のフォロー
- ・ 研修会開催に向けた支援、資材の提供
- ・ フォローアップ研修会で各都道府県の取り組みの共有、自都道府県の課題解決に向けた検討、研修プログラムのブラッシュアップ

都道府県内のPDCAサイクル確保をめざす都道府県指導者研修

都道府県内のがん医療水準の向上を目指し、都道府県内の指導者が課題解決に向けた都道府県内で研修を実施。

← **情報センター主催 都道府県指導者研修会で支援**

目標達成状況を踏まえて研修を改善し、PDCAサイクルを確保していく。

← **情報センター主催 都道府県指導者フォローアップ研修会で支援**

